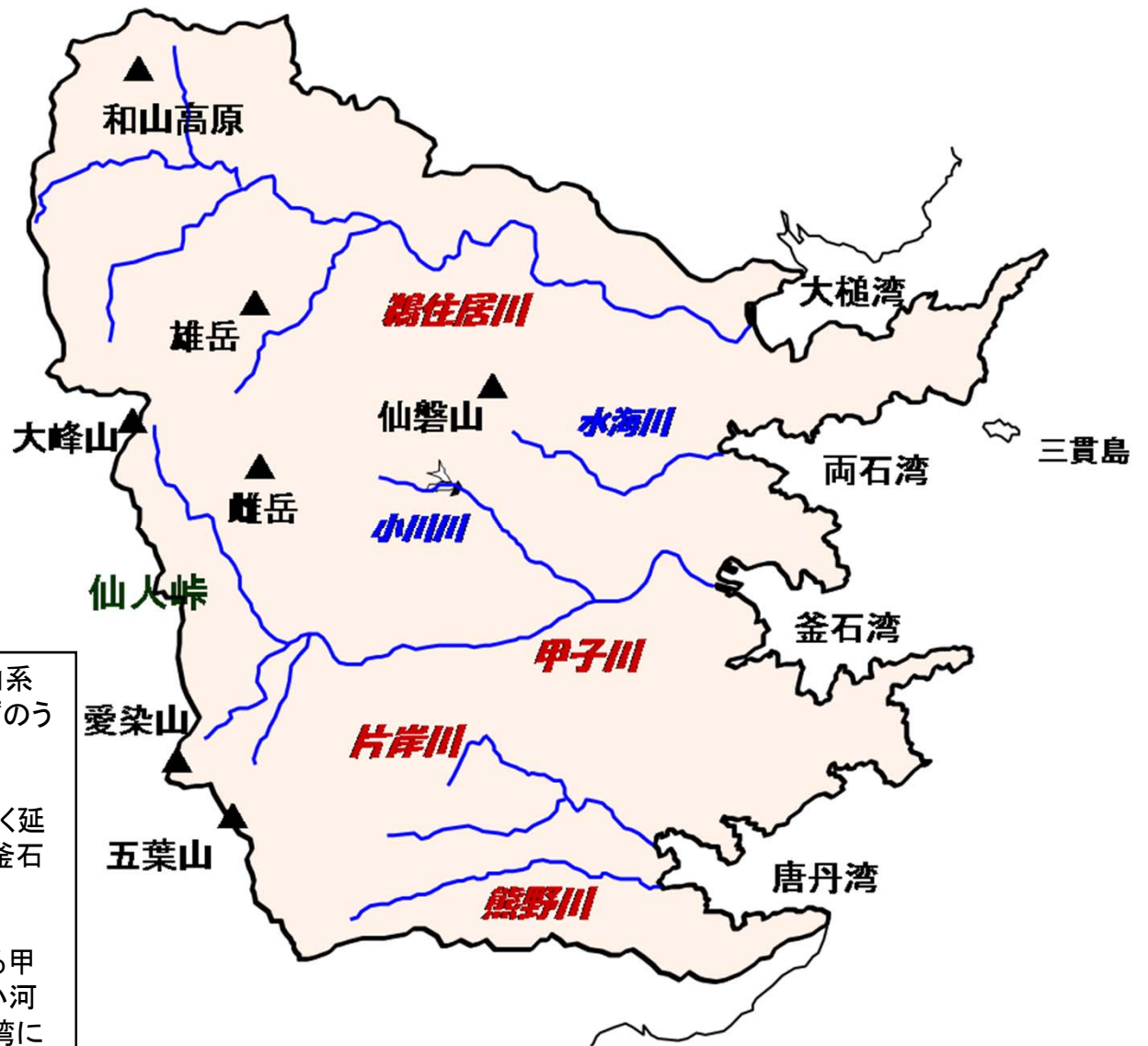


環境未来都市構想 説明図

釜石市

1. 釜石市の地理的特色



○当市は、リアス式海岸の急峻な海岸線と北上山系から分かれた支脈に囲まれ、面積441.32km²のうち約90%を森林が占めている。

○これらの支脈は、更に海岸線に向い、次第に低く延びて半島となり、その内側に大槌湾、両石湾、釜石湾、唐丹湾を形成している。

○市西部の標高1,000m級の山々に源を発する甲子川、鴨住居川、片岸川、熊野川の4河川が小河川を集めながら、山間を縫うように東流して各湾に注ぎ、河川流域と河口付近のわずかな平坦地に市街地と集落を形成する狭隘な地形を有している。

2. 釜石市の歩み

- 安政 4(1857) ⇒ 盛岡藩士大島高任が、我が国初めての洋式高炉を建設
- 明治13(1880) ⇒ 工部省釜石鉄道(釜石港—大橋鉱山間)が開通〔我が国3番目の鉄道〕
- 明治29(1896) ⇒ 三陸沿岸に大津波来襲
- 昭和20(1945) ⇒ 終戦→戦災復興開始
- 昭和35(1960) ⇒ チリ地震津波来襲、被害総額6億3千万円
- 昭和53(1978) ⇒ 湾口防波堤の建設に着手
- 昭和60(1985) ⇒ 新日鐵釜石ラグビー部V7達成
- 平成元(1989) ⇒ 新日鐵(株)釜石製鐵所の第一高炉休止
- 平成12(2000) ⇒ 新日鐵(株)釜石製鐵所、石炭火力発電事業開始
- 平成13(2001) ⇒ 釜石シーウェイブスRFC発足
- 平成15(2003) ⇒ 重要港湾釜石港リサイクルポート指定(全国18地域)
- 平成16(2004) ⇒ かまいしエコタウン地域承認(全国23地域)
- 平成18(2006) ⇒ 仙人峠道路、湾口防波堤、釜石港多目的国際ターミナルの釜石3点セット完成
- 平成19(2007) ⇒ 近代製鉄発祥150年
- 平成21(2009) ⇒ 定期内航フィーダー開設
- 平成23(2011) ⇒ 東日本大震災により壊滅的な被害



3. 釜石市環境未来都市の成り立ち



昭和三陸津波 1933

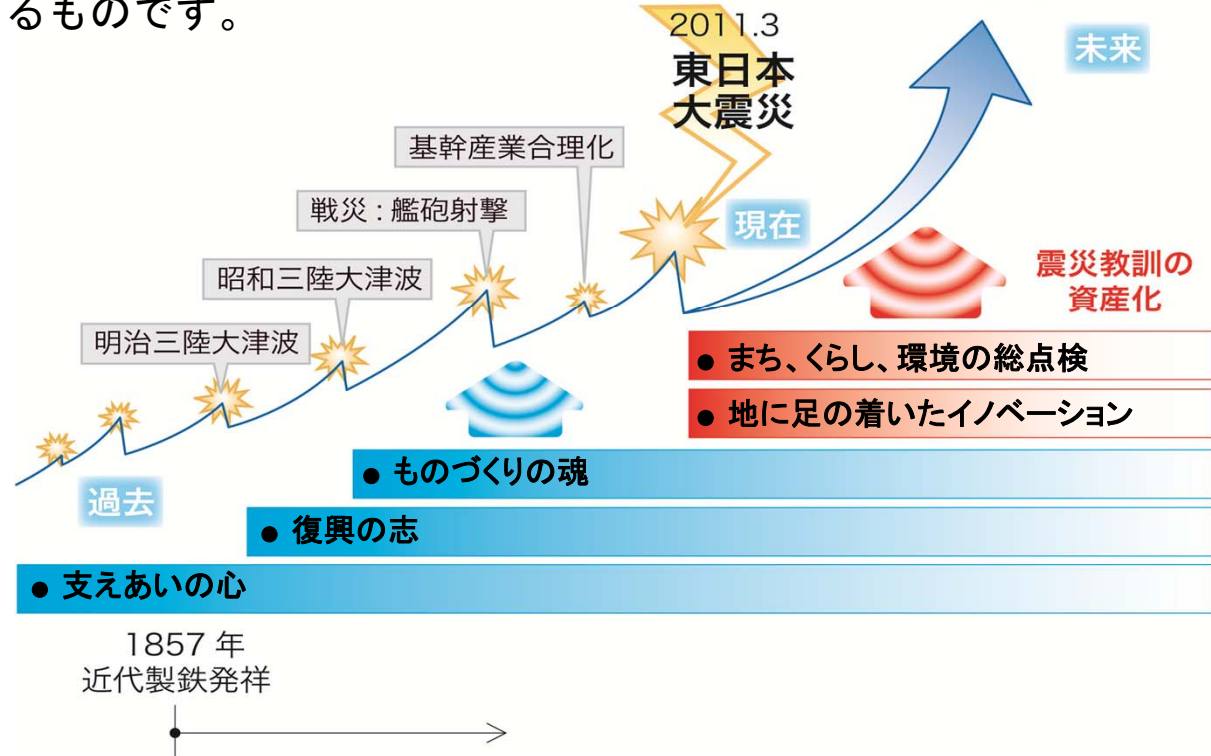


釜石艦砲射撃 1945



高炉休止 1989

釜石の過去・現在そして未来
 釜石の長い歴史を振り返ると、過去から受け継いできた大きな財産として、図に示すような『ものづくりの魂』と『復興の志』、そして『支え合いの心』を見出すことができます。
 釜石市の環境未来都市構想は、これら3つの財産を起点として、未来に向けて、光り輝き、希望と笑顔があふれるまちを目指していこうとするものです。



1. 低炭素・省エネ・省資源による循環型都市

2. 自分の役割に喜びを感じながら暮らせる共助都市

3. 人と人、まちとまちが繋がる交流都市